

合格大学	得点	全体の感想	大問1	大問2	大問3 【選択問題】	大問4 【選択問題】	大問5 【選択問題】
東京大学 文科一類	88	基本的な計算ばかりだったが、素早く解けないと時間がなかった。	cosやsinの値から θ がどの範囲に対応するか判別するのに時間がかかった。対数は条件を丁寧に処理すれば問題なかった。	図を描けば問題設定はわかりやすかったが、いつも通り計算が面倒だった。	計算の途中で符号を間違えてしまい、後半の計算の答えが空欄に合わなくなった。何度も計算し直したが合わず、結局諦めたが15分失った。	時間がない中でそこそこの計算をさせられたので途中までしか解けなかった。	
東京大学 文科一類	86	模試で50点台をとったこともある苦手科目だったので、全部間に合わせようとするのではなく、落ち着いて取れるところを確実に取れるよう意識した。	例年通りの典型的な問題か。誘導に従って、流れに沿って取り組むことができた。	計算が煩雑でやや時間をロスしたため、想定時間を少し超えたくらいのところまで次の問題に移った。	途中で難しいところがあったため、飛ばして最後の設問に取り組んだ。前問までが分からなくても答えは出せるように考えたため、kに適当な数値を代入して逃げ切った。	計算量が多く、時間も迫っていたため焦りを感じた。答えを入れられるところから取り組んでいった。	
東京大学 文科一類	84	IAよりは簡単だった。平年通りの難易度だった。時間との勝負になると思った。	例年通りの難易度であった。対数の問題がよくわからなかったため、自分では当てはめでやった。	例年通りだった。面積を求めるときの計算がとても面倒だった覚えがあるので、計算に気がつけた方が良かった。	何回も変形するので、きちんと手順に沿うことが大切だと思う。特に係数に注意することが大切だと思う。	最後の問題は難しいと感じた。最悪間違えてしまっても良いと思う。	
東京大学 文科一類	75	昼休みに高校の友人と激励あって受けた。数学I・Aの悔しさを晴らすつもりで臨んだ。	序盤からうまく誘導に乗れず苦しんだ。	計算ミスが多発し、なかなか先に進めずに焦った。	最後の方は解答欄に合う形の答えが出てこず、あて勘で解いていった。	時間がなくて本当に焦っていた。簡単なはずの内積の計算ができず悔しかった。	
東京大学 文科二類	100	スピードと計算力が必要であり、二次試験対策をどれだけ行っていたかが鍵になった問題だと思えます。数I・Aでの致命的ミスに休憩時間中に気がついたので、数II・Bは挽回するつもりで気合を入れて頑張りましたが上手く行って良かったです。	実は三角関数が途中で詰まり、後回しにしていました。最後に戻ってきて埋めることが出来たのでよかったです。かなり焦りました。	練習では計算ミスで詰まることが多く、本番でも案の定途中で詰まってしまう。計算量が多く、余白が埋まってしまったため、直前期には計算用紙の使い方も含めて練習した方がいいと思います。	解答欄が多く見るからに計算が複雑そうだと思いましたが、丁寧にやっていたら答えが求まりました。式の形が複雑というだけで、やっている計算自体は単純ということは数II・Bにはよくあるので落ち着いて臨みたいですね。	これもやや計算量が多いですが、誘導の言葉を適切に数式に置き換え、正しい図を描ければ解いていけました。比較的二次試験の問題に近い印象でした。	
東京大学 文科二類	98	数学ⅡBはいかに計算を速く正確にできるかが勝負であるかと改めて思い知った。解法の理解は当然として、計算を慌てず落ち着いてこなしていくのは大変であったが、楽しくもあった。	ここは特に難解な計算や手間のかかるやっかいな計算はなかったように思う。素早く解いた。	ここから計算が難しくやっかいになり始めたように思う。計算ミスに細心の注意を払った。後は答えを正しい位置に正確にマークすることも心がけた。	漸化式の問題ではよく正負を間違えたりn乗とn+1乗を間違えたりするなどのくだらないミスをしていたので、本番ではそれらがないように心がけた。	手間のかかる計算が多く、丁寧な図を描いている暇は無いが、体積のような立体図形の問題は丁寧に図を描かないと頭が混乱して解けなくなるので賭けが必要だ。私は図を適当に書いたため答えが出ず間違えた。	
東京大学 文科二類	95	計算量が非常に多く、見直しの時間も無くなるなど難しい年でした。手計算が全て合っていたことで高得点を取れました。計算力の問われる問題だったと思います。	cosの合成が出なかったため、個人的にはラッキーでした。誘導も付いていたため、早々に完答できました。	6分の1公式や12分の1公式など、積分公式を幅広く覚えておくことで、計算を速く進めることができました。逆にこれらを覚えていないと、苦戦を強いられたと思います。	数値が分かり次第マークをすること、手間はかかったもののマークズレを防げました。最後の3箇所を解答し損ねてしまったのが心残りです。	空間で考えるよりも、問われているベクトルを含む平面に落とし込んで考えることで、解答がスムーズになりました。	
東京大学 文科三類	92	過去問演習の際、いつも時間がギリギリだったため、いかに丁寧に速く解けるかが大事であった。	基本的に易しめであったと思う。計算ミスは絶対許されないと自分に言い聞かせたがやっつけました。	やることは単純であるが、計算を間違わないよう注意した。特に丁寧に解く必要があったと思う。	途中で詰まってしまう、焦ったが、落ち着いて考え直すと先に進むことができた。時間に追われていても深呼吸して落ち着くことが必要である。	易しめであったと思う。確実に解き切っていたいかなければと思った。	

合格大学	得点	全体の感想	大問1	大問2	大問3 【選択問題】	大問4 【選択問題】	大問5 【選択問題】
東京大学 理科一類	100	数学ⅠAのリベンジを果たそうと思って臨みました。こちらはあまり例年と傾向が変わらず、落ち着いて解くことができたので、見直しの時間をたっぷり作ることができました。	傾向が例年と変わらなかったの、落ち着いて解くことができました。計算量の多かった問題には印をつけて後で見直しするようにしました。	得意分野だったので、早く解くことができました。この大問は全体的に計算量が多かったので、見直しに時間をかけるようにしました。	数列も得意分野だったので、サクサクと解くことができました。(4)は丁寧に解くようにしました。	ここで時間に余裕があることが分かったので、きれいな図を描くなどして、丁寧に取り組みました。ひとまず、時間内に完答することができて一安心しました。	
東京大学 理科一類	99	計算量が多く、計算力の有無が点数に大きく影響する科目だったと思う	この大問は例年通りの難易度、分量であった	微積は空きスペースで上手くグラフを書いてイメージできるかがポイントだったと思う	ここで時間を結構使った。数列の問題に慣れてない人は計算が多いことに加えて、何をやっているかわからず苦しんだように思う	立体だったが、詰まることなく解けた	
東京大学 理科一類	92	2Bは1Aよりも計算はハードだが、解き方が見えやすいことが多いので、点数は安定すると思う。	ここは止まることがないように意識した。解き方が見えなかったら後回しという判断を素早くするようにした。	数3で培った微積分の力をここで発揮した。数3をやっておくと特に積分の式変形に強くなれる。	漸化式さえ立ててしまえば勝ちだと思っているので、そこに全力を注いだ。それ以降は機械的に処理した。	空間は少し苦手だった。ベクトルの計算でゴリ押しスタイルで攻めるようにしていた気がする。	
東京大学 理科二類	98	過去問より計算量が増え、難しかった。	誘導に従えば問題は無かった。	計算量が多く、焦るとミスしてしまいそうだったので後回しにした。	誘導に従えば問題は無かった。計算量は少し多いと思った。	計算量が多く、難易度も高いと思った。	
東京大学 理科二類	96	時間がギリギリで見直しをする時間が取れなかった。	想定していたより時間がかかったの、焦って最後の問題をいい加減に解いてしまった。	図をきちんと書いて今自分が何をやっているのかが明確になるように意識して解いた。	時間が押して焦ってしまい最初の計算問題を間違えてしまった。後半に響かなくてよかった。	途中で詰まってしまったが、最初から丁寧に考え直して解ききることができた。	
東京大学 理科二類	94	標準的な問題だったと思う。	センターでよくある形式で、過去問とか問題集とかちゃんとやっておけば普通にできる問題かと思う。	センターでよくある形式なのでちゃんと対策しとけば普通に解けると思う。あと図を正しく書けるかと計算ミスをしやすい積分の計算がちゃんとできたかも大事。	最初の方だけでも解いておきたい。本番では最後までいかなかったが答えの形や間違っている、自分の計算結果や $n=1,2$ の場合からある程度答えが推測できるのであり得そうなことを埋めるべき。それで数点稼げた。	最後の問題はちよみむずだがそれまでは標準的でぜひ正解したい。	
東京大学 理科二類	92	いちばん時間が足りなかった科目でした。ただ、周りの人も解けていなさそうだったので、切り替えは容易でした。	このあたりで既に「今年難しくね」と思いました。	計算が合わず、いったん飛ばして自分を落ち着かせようと試みました。	ここでも計算が合わず、背筋が冷えました。項が一つずれていたことに気づけて本当に良かったです。	時間が残り少なかったの、速度重視で解きました。	
東京大学 理科二類	90	全然時間が足りなかった。最後の方はもう数撃ちや当たる戦法でほとんど考えずに埋めていったが結局全部は埋まらなかった。けれど埋めたところがほとんど合っていたようで点数は思ったより取れていた。	簡単だけれど量はそこそこあるので、素早くミスなく解くようにかなり注意した。	後半の積分計算がめっちゃくちゃ大変で、一つ解くのにつき時間がかかったうえに結局飛ばしたように思う。	間違えても1番気付きにくいし、辛くなる式に大量失点してしまうのでかなり時間をかけた。そのうえ、かつてみたことないくらい複雑だったので解き終わらせる気がないのかと思った。	立式とか方針立ては分かりやすいし簡単なのに、空間だというせいですが、時間もかかった。これも最後まで終わらなかったと思う。	
東京大学 理科二類	87	例年よりも難しく、時間が足りていない人が多かった。過去問なども30分で解く練習をするといふと考える。	三角関数の問題は単位円を考えると範囲を求める問題も簡単に間違えることなく解くことができる。	この問題は計算ミスをしやすいので、中盤に解くと解きやすいです。	漸化式は具体的な数字を考えると、代入してチェックができます。	この問題は難しいので、最初にちょっと考えて時間が余ったらゆっくり考えましょう。	

合格大学	得点	全体の感想	大問1	大問2	大問3 【選択問題】	大問4 【選択問題】	大問5 【選択問題】
東京大学 理科二類	75	もともと数学2Bが一番苦手だったのに加え、今年はいつもとより難しかった(と思う)のでとても焦った。時間も足りなかったし、飛ばして次の問題を考えても分からなくてセンターで一番失敗した科目になった。	[1]は落ち着いて図などを書いたらしっかりとした。 [2]は途中までわかったが、最後の二つがどうしても分からなくて絶望した記憶がある。焦って何も思いつかなかった。	計算が多くて時間を取られた。面積公式を使ったけどあつて不安で普通に計算し直したら時間がなくなった。最後の方は状況が掴めず、何も分からなくて諦めた。	計算が多かったが、落ち着いて漸化式を解いたら空欄を埋めることができ、少し安心した。	途中まではわかったが後半は計算が多くて頭がこんがらがってよく分からなかった。適当に埋めたら、5点分たまたま点数が来たのでラッキーだった。	
東京大学 理科三類	100	基本的には容易だったが、計算ミスで10点落としかけていた。見直しでなんとか気付けた。	簡単な計算問題だったので、満点を取りながら、徐々に眠気を吹き飛ばすことができた。	流れに乗れば難しくないのだが、計算ミスをしていて、見直した時にやっと気づいた。なんとか満点を取れた。	数列は得意なので、10分ほどで満点を取れた。見直しも不要なほど自信があった。	毎年似たような問題が出ているため、退屈だったが、しっかりと満点を取った。	
京都大学 法学部	90	IAの手ごたえが悪かったので、逆に開き直って緊張することなく試験に臨めました。一つの教科の出来に一喜一憂せず、気持ちを切り替えるのも大事なことだと思います。	三角関数は、特に θ の値が0や90の倍数の時に注意して、計算ミスの内容に取り組みばいいと思います。指数でつまずいたときはいったん飛ばして、後でもう一回戻ってきて解きました。	微積分は、大問の最初でミスをするので後で取り返しがつかなくなるので、特に気をつけて解きました。	n か $n+1$ かといった細かい部分まで丁寧に解くように気をつけました。また、数列の性質をうまく利用して、計算が複雑にならないようにしました。	最後(4)が解けそうだったという所で時間切れになってしまったのが悔しかったです。	
京都大学 文学部	87	時間が足りなくて大変だった。時間が足りない間違えが多発し、それを直す時間も余分にかかるから、無理に全部正解させようとするより、最低限の点数を取ることに注力してもよかったとおもう。	見たことあるパターンで特に難易度に変化はなかったが、やや焦っていた。	最後の方は計算に時間がかかっていたため全部の問題を解き終わった後に回そうとしたが、かなり時間がぎりぎりだったので計算をもっと早くできるようにしておきたかった。	後半になるにつれて、時間が足りないことへの焦りで計算ミスが多発し、かなりの時間を要した。計算に行き詰まったら大問の最後の方の問題を捨てても仕方ないと思う。	図形が途中で分からなくなり焦ったが、途中からなんとか挽回できた。センターの数学において、時間に追われる環境の中で問題を解くという練習をするのはとても効果があると感じた。	
京都大学 文学部	85	数学は非常に苦手だったが、たいぶ健闘した。個人的には満足できた点数。	[1],[2]ともに最後の問題までは苦労しないはず。私のように数学に自信がないなら最後はとぼすのも悪くない。	時々数値を確認しつつ解いていけば、ミスは大分減らせる。	計算ミスに注意しつつ誘導にのっついていけばそこまで難しくは感じなかった。	情報を一箇所にまとめて整理すれば解くスピードが上がる。	
京都大学 経済学部	92	問題の量、計算の量、そして問題のレベル、そのすべてが例年まれにみる高さだったと感じた。特に、数列とベクトルの計算量が異常だった。ただし、ある程度解き方はワンパターンのものが多く、しっかり対策してきた人は取れる試験だったのかなという印象を受けた。計算ミスがなかったのも、何とか大台に乗せることができた。	ところどころひねってあったが、自分が解いてきた問題の量が自信になっているので、15分以内にノーミスで解き終えることだけにすべての神経を注いだ。指数対数の問題で少しつまずきかけたが、何とか持ち直した。最後の問題だけ解けなかったと思う。	微積分はやり方が決まっています、比較的シンプルなので、何としても満点を取らなければならない。大問だと肝に銘じて取り組んだ。計算が異常に煩雑で、特に最後のほうの問題は解いている途中でなえそうになったが、何とか解ききることができた。計算ミスをしなくてよかった。	かなり煩雑で、計算も面倒だった。一つの漸化式を求めるとに何個も別の漸化式を立てて求めなければならない。その過程も非常に複雑で最後まで答えを出し切るのにはかなりの業だった。しかし、何としても満点近く取りたかったのも、いつもはベクトルからやるが、今回に限っては確率から取りかかり、最後までやり遂げた。	こちらは、やり方はそこまで難しくなかったが、とにかく計算が大変だった。その上、数列のせいで本当に時間がなかった。とにかく計算ミスを恐れず、でき得る限り最速の速さで解いた。解法が頭に染みついていたのでこそできたのだと思う。最後数問間に合わなかったが、ほかの大問をしっかりと取り切った分、総合的には満足はいくものとなった。	
京都大学 経済学部	81	全体的に見れば全ての大問が例年並みであったように感じた。	[1]は最後の θ の範囲を求める問題以外は苦戦しなかった。[2]は対数を文字に置換した後の問題が少しやりやすかった。	特に変わった問題が出題されることもなく、難易度も標準だった。	難易度自体は簡単ではなかったものの、例年とそれほどかけ離れてはいない。しかし、計算量がとても多く時間が間に合わなかった。	四角形の形態を答えさせる問題が目新しく解きづらかった。計算量は相変わらず多く、最後までたどり着くのは極めて困難だった。	
京都大学 教育学部	91	計算量が大幅に増加しており、難易度が1A同様に上がっているように感じた。	三角関数の問題は、誘導が丁寧にされていて、比較的解きやすかったように思う。	やることは決まっていたものの、計算量がかなり増加していた。	文字を含む計算が尋常でないほど面倒になっていて、かなり厄介な問題だったと思う。	第3問までの計算に時間を割いてしまい、空間ベクトルの問題は途中で終わってしまった。この問題も計算が面倒だったと思う。	

合格大学	得点	全体の感想	大問1	大問2	大問3 【選択問題】	大問4 【選択問題】	大問5 【選択問題】
京都大学 総合人間学部	67	模試の時もそうだったが、時間が全然足りなかった。終始焦ってしまっていた。	三角関数は最後の 方の設問で計算ミ スをしてしまい、選 択肢と答えが合わ なくて焦った。指数 関数は最初の設問 からよくわからな かったので飛ばしな がら解いた。	計算がややこしく、 最後の方は時間が 足りなかったので解 く時間が無かった。	最後まで解ききつ たが、計算ミスで少 し値がズレてしまっ た。計算式を書きす ぎで問題用紙が数字 だらけになり、見 にくくなってしまっ た。	時間が無かったの で最後の方はかなり 雑に解いてしまっ た。よって点数もあ まり良くなかった。	
京都大学 工学部	100	計算量が多く複雑 だった印象がある。 丁寧に計算するこ とを意識した。	様々な種類の計算 が混ざっていて面 倒だった。焦りすぎ ないようにしつつス ピードを意識した。	図を間違えていて とも時間がかかっ てしまった。途中で 見直ししながら進め ばよかったと思う。	計算さえできればそ のほかにも考えるこ ろは特になかったよ うに思う。	立体が想像しにく く全く自信がなかつ た。計算も複雑だっ たように思う。	
京都大学 工学部	93	時間が足りないの で切るべきところと 取るべきところを吟 味した。	比較的時間もかか らず解きやすかつ た。忘れたら絶望的 な公式は一応確認 しておくべき。	最後の積分は時間 がかかるので置い ておくのもありだ と思った。点数配分を ある程度予測して 捨てるのも手。	これはかなり時間 がかかる。最後の 問題は分かれば簡 単だが分からないと 時間を食うばかりな ので捨てましょう。	落ち着いてとけば 問題なかった。時間 が押していたので かなり焦ったが難し くはなかった。	
京都大学 工学部	90	京都大学の工学部 のセンター配点に 数学が入らないこと もありほとんど対策 をしていなかった。 時間が圧倒的に足 りずかなり動揺した が、配点には関係 ないと自分に言い 聞かせ、理科まで には気持ちを切り 替えた。かなり難し いと感じた。手応え はかなり悪かった が、思っていたより は点数があった。	第1問はとくに難し いと感じることもな くすらすら解け、気持 ちが落ち着いた。	計算がややこしか ったものの、例年通 りの難易度だと感じ た。早く解くことと計 算ミスをしないこと を意識した。第2問 では問題をどう解こ うかと考える時間 はないので、瞬時に式 を立てる力や計算 力が大切だと思う。	第1問、第2問と順 調に解いてきたが、 第3問からペースが 乱れ出した。どうし ても数値が合わない 問題があり、とり あえず第4問にう つつてみたものの、 その問題が気にな ってもう一度戻っ てやり直しているう ちに時間がどんど んなくなり、かなり 焦った。分からない 問題はこだわりすぎ ない方が良くと思 う。	第3問にかなり時間 をとられ、第4問に 入ったときには、す でに残り時間が10 分を切っていた。と りあえず最初の簡 単な問題は埋めた ものの、焦りで問題 が頭に入ってこな かった。(2)の途中 で時間が来てしまっ たため、解ききれな かった部分は適当 に埋めた。	
京都大学 工学部	84	時間が足りず、最 後まで解ききれな かったことが悔やま れる。	[1]、[2]ともに基本 的な問題だったので、 間違えないように慎 重に解いた。	図を描くことで、簡 単な解き方を思い つくることが多かつ た。計算量が多め なので、後で見直し できるように途中式 を分かる形で残し た。	今年の問題の中で 一番時間がかか った部分だった。	少し詰まったがあ まり時間はかから なかった。	
京都大学 工学部	81	かなり分量が多く 時間が足りない。普 段の模試から満点近 く取れていたのにか なり焦りミスを多発 した。	難易度はまだおと なしいが、分量は多 い。	ここは普段通りで きた。	かなり焦ってしま い、途中でつまつ てしまった。	難しく時間も足り なかった。	
京都大学 農学部	85	2科目目の数学で、 かなり集中力が落 ちてしまっていて、 スムーズに解くこ とができなかった。	特に難しい訳では なかったが、少し ゆっくりと解いてし まい、後々の時間 配分に響いた。	計算を1発であわせ る集中力が求めら れた。きつかった。	途中から、変形後 の式がなんの式で どの手がかりと噛 み合うのかがわか らなくなってしまっ て、大幅にタイムロ スをした。	時間がほとんどな いなか、どうにか2 問残して終えるこ とができた。	
京都大学 農学部	83	とにかく時間が足 りない！！	最後の方で詰ま ったら、諦めること も肝心。	変に裏技を使おう とせず、ミスのない 素早い計算を練習 した方がいいかもし れないと思った。	難しいところは後 回しにしても、戦 略としてありだと思 う。	計算に時間がかか りそうだと思ったら 一旦他の問題に行 くのもあり。	
京都大学 薬学部	83	現役の時は計算用 のシャーペンの芯 が切れて積分が つらかったの で2年目は しっかり注意し、 色気を見せずに稼 げるだけ稼ごうと 思って解いた	まず初めの大問は 稼ぎどころなので速 度は勿論だが正確 性を第一に念頭に 置いた。出題は例 年と同じ感じだっ たので落ち着いて解 けた	微積は初めの方は しっかりやれば絶対 点になるので丁寧 に解いた。分から なくなる、計算が煩 雑になる、解答欄が 合わない等の事態 になったら即撤退 を頭に置いて後ろ の方は解き進め、 (3)辺り で無事撤退に追 い込まれた。	漸化式は煩雑だが 必ず点になるので、 大問2と同じ感じ で解いた。こちらは 無事最後までたど り着いたが、計算 ミス、勘違いが かなり多発する大 問なので見直しに 十分に時間を割 いた。	図形は苦手なので 初めからこの大問 の得点は追加点、 とえながら解い た。全然解けな かったが、初め の方は一応点 になった。	全く勉強してな かった ので手を付け な かった

合格大学	得点	全体の感想	大問1	大問2	大問3 【選択問題】	大問4 【選択問題】	大問5 【選択問題】
北海道大学 総合入試文系	46	もともと苦手だったうえに分量が増えたからか、ほとんど手がつかなかった。	標準的な内容と難易度だったので落ち着いて取り組みれば確実に得点できる。	例年並みの難易度だったと思うが、設定の理解にやや戸惑ったので時間を大幅にロスした。	時間を大幅にロスしていたことで焦り、解法が思いつかなかった。難易度も例年よりやや難しかったように感じた。	難易度は例年並みだったと思うが、時間がなくほぼ空欄で提出した。	
北海道大学 総合入試理系	86	数学Ⅰ・A同様、制限時間が厳しかったが内容は筋道の予測しやすい問題が多く感じた。	基本事項を押さえておけば、楽に解ける問題ばかりであった。同じような問題を模試などで触れていたため、特に難しくはなかったように感じる。	放物線の位置関係をつかみにくく、最後のほうでグラフを書き直すなどをしていたので時間が足りなくなってしまった。	計算が複雑になり、非常にややこしかった。広い計算スペースでしっかりメモを取っていくことでケアレスミスを防げると思う。	最後に体積を求めることが分かり切っていたので、どの長さを求めるべきかなどがあらかじめ分かり、解きやすかった。	
北海道大学 総合入試理系	76	数列の計算量が多かった記憶がある。全体的に誘導に乗ってあげばそんなに難しい問題ではなかった。	与えられた問題は簡単なものではないが、誘導にうまく乗って小問を一題一題解いていく感覚で進めることで最後まで解くことが出来た。	前半は簡単であるが、後半は計算量が多く計算ミスが目立った。図を丁寧に書くことが非常に大切である。	後半の計算を時間内に行うことが難しかった。ただ落ち着いて解けば満点を取ることが出来ると思う。	座標を扱う問題で扱いやすかった。図形をイメージすることも大切だが、ベクトルの良さを生かして計算問題と捉えてもいいと思う。	
北海道大学 工学部	87	模試では満点を取ったこともある科目だが、計算が合わないところで時間を消費してしまい、失敗してしまった。	三角関数、指数関数、対数関数における基礎的な知識、理解を問う問題だったが計算ミスしないように丁寧に解ききった。	微積分は、一つの計算ミスが雪崩につながり大量失点につながるのでもう丁寧に計算した。	この大問の計算量が増えていたように感じられる。この大問で、計算が一致しないところが出てきたために、無駄に時間をロスしてしまった。	この大問は問題量が増加していたように思われた。前の大問で時間をロスしていたために苦しく多くの失点をしてしまった。	
北海道大学 農学部	82	自信がある科目の一つであったが、思うように解けなかった。	この大問は基礎的なことをよく聞かれるので、焦らずに落ち着いて解こう。	後半の面積を求める問題以降、焦って全く手がつかなかった。	数列は誘導が丁寧なので、しっかり誘導の意図を考えながら解こう。	最後の問題の解き方が思いつかなかった。	
北海道大学 医学部 保健学科	59	数列の問題で解答欄と答えが合わなくなってしまい、得意分野でのミスだったので動揺してしまって思考が堂々巡りしてしまった。落ち着いて解くことができなかった。	少し複雑な計算もあったが問題なく解くことができた。	最後の部分だけは計算が煩雑になってしまったので埋めることなく次に進んだ。	前半で解答欄と自分の答えが一致しなかったので焦ってしまい、何度計算してもミスに気づくことができずほとんど点数が取れなかった。演習で詰まったことのないところで詰まってしまったのが大きな焦りにつながったのだと思う。	大問3で時間を使いすぎたために解き切ることができなかった。途中まで解いた感覚では落ち着いて解けば問題ない難易度だったと思う。	
東北大学 法学部	74	時間が足りない。ベクトルの時間がなくてダメだった	基本的なことを押さえて臨む。公式のど忘れなどはほとんどないが、解き方を忘れることはあるので直前に確認しておくとうい	計算ミスが起こりやすいので、出来るだけ広いスペースに間違えないように書く	漸化式は分からなければ飛ばす。	ベクトルは時間を割けば分かるので諦めずに図形を書いて解く	
東北大学 文学部	78	難しかった。わからない問題はほとんど飛ばしていたら、最後にそれをよく考える時間が十分に取れた。	基本的な問題。各問最後は難しかったので、そこに執着する必要はないと思う。	式を解けなくても図を描いたり適当な値を代入すれば意外と答えがわかる。	手を止めないように気を付けた。ひたすら式を書いたり、初項から第3項くらいまで求めたりすればそれっぽい数字が出て、それが正解だった。	図が描きづらくて難しかった。ベクトルは苦手だったので、この半分くらいは戦略的に諦めた。	
東北大学 文学部	49	得意な分野が解けず焦り、それが他にも影響して悲惨な点数になった。	個人的には標準的な難易度を感じた。	時間が足りず、満足できるほど解答できなかった。	計算ミスをしてしまい大きな時間ロスとなった。決して焦らずに！	得意だったはずなのに思うようにいかず、非常に焦った。	

合格大学	得点	全体の感想	大問1	大問2	大問3 【選択問題】	大問4 【選択問題】	大問5 【選択問題】
東北大学 経済学部	93	過去問を解いている頃から数学1Aよりも点数が悪かった。本番は緊張していた。結果的に緊張が正しい方向に働き1Aよりも点数が良かったが、1番の要因は計算ミスで止まることがなかったことだと思う。	過去問を解いている頃三角関数で分からなくなることが多かった。時間が経たない中でも時間をかけて解くことを意識した。逆に指数などの範囲は得意な分野だったので計算ミスをしないように気をつけながら素早く解けるように気をつけた。	ここも計算ミスが多かったが、計算し直すと終わらなくなるということが過去問を解いたときの時間配分でわかっていたので、問題冊子の使わない部分の余白を広く使って丁寧に計算した。	漸化式は誘導に乗れば簡単な範囲なので誘導に乗ることを意識した。本番は過去問での演習よりも多少難易度が高かったが、逆に自分は解けた自信があったので逆にこの後の問題を解く上での自信となった。	ベクトルは計算式がたくさん出てくる分野なので余白をうまく使えるように工夫した。特に問題用紙に書かれている図形に書き込む際に汚くならないように気をつけた。	
東北大学 工学部	93	すべて解くことは出来なかった。とても悔しい。	指数関数、対数関数の問題の計算が大変そうだったので、ゆっくり解いた。	はじめの問いで計算を間違えるとすべて間違ってしまうので、慎重に解いた。	複雑に感じたので、一つ一つ落ち着いて解いた。	最後の数問が解けなかった。正しく図が書けず、焦った。	
東北大学 工学部 (AO)	57	全然できなかったように思う。模試では数ⅡBは比較的得意だったが、とても難しく感じた。	[2]は比較的出来たように思う	この問いはあまりできなかった。途中でよくわからなくなってしまい、最後までできなかった。	数列は、模試でもできるときとできないうちがあったがこの回は途中でよくわからなくなってしまった。おそらく、数列に関しては勉強不足もあったと反省している。	ベクトルは得意であったため、ある程度はできたと思うが、時間が足りなかった。	
東北大学 農学部	86	特別難しかったわけではなかったが、過去問と同様に私の場合は時間がぎりぎりだった。	どちらも誘導にのれば解きやすかった。	(4)の問題の計算がなかなか合わなかった。一周目で計算が合わなかったら最後に回したほうがいいと思う。	一行ずつ丁寧に追っていくことで埋められた。焦らないことが肝心だと思う。	(4)が最後まで合わなかった。	
東北大学 農学部	82	手応え的にはまあ、まあ、可もなく不可もなく感じていた。点数もまさにその通りだった。	ぱっと見難しそうと思ったが、誘導通りに解けばそこまで難しくなかった。	途中で計算ミスをしていることに気付いて解き直したので最後まで解けなかった。やってしまった。	死ぬほど漸化式は練習したので出てくられてよかった。点数もバッチリ取れた。	時間がなかったの、で、だいたいこんなモンだろと思ってマークしたのがたまたま当たっていた。ラッキーだった。	
東北大学 理学部	74	例年よりボリュームがあって、時間がかった。速く、そして正確に解答できるかが高得点のポイントだと思う。	三角関数は単位円を書くことで、ミスが減らせると思う。計算ミスに気をつけたい。	例年よりも凝った問題が多かった印象。時間がかかるな、と思った次の大問に進んで、あとでもう一度戻ってくるなどして、臨機応変に対応していけばいいと思う	例年よりも複雑だった。見た目が複雑なだけで、やっていることは基本的なものが多かったが、複雑に見えるため身構えて焦ってしまった。	共通テストを意識したからか、文章の選択肢の設問があった。見慣れない問題が出て、自分なら解けると思い込んで諦めないでほしい	
東北大学 理学部	100	一度も躓く事なく解く事ができ、時間も15分程度余りました。少し面倒な計算や複雑な発想が必要だったので、そこで生死を分けると思いました。	この問題はセンターの特色がとても強いので何度も過去問を解きなれるしかないですが、問われていることは至って教科書レベルなので複雑に考えすぎない方がいいです	公式をうまく使って乗り越えるのがベストだとは思いますが、時間があるのなら丁寧に計算をした方がいい。あと、自分が何をしているのかを見失いがちなので、意識して解くのがいい	一見難しい形に見えても、丁寧な誘導があるので前後を確認して何が行われるべきなのかをきちんと把握すれば少しの思考で解く事ができます。	頭の中でイメージするのは絶対にやめた方がいい。他人にはわからなくても自分だけわかる図を描いておけば間違った認識によるミスはなくなる	
名古屋大学 文学部	60	元々得意ではなかったがここまでひどいとは思っていなかった。	最初の問題から少し考え込んでしまい、タイムロスになってしまった。	積分の面積の計算は焦ると絶対に計算ミスをするということがわかった。計算ミスをした。	数列はとても苦手で、解法が思い浮かばなかったのでワークプレイで解こうとしたが上手くいかなかった。きちんと公式などを利用することが大事。	空間ベクトルはどうしても全体が捉えづらく、時間がかかった。	
名古屋大学 経済学部	89	この科目は二次試験でも使う内容が多かったためいい点を取ることができた。ただ時間はすごく厳しかった。	三角関数、指数対数の問題は基本的なものが多いので簡単だった。	微積の問題は計算速度を上げることとグラフを丁寧に書くことが大事。計算ミスをしたときの保険で計算過程も雑に書きすぎないことも大事。	この問題はセンターにしては計算が大変だったが、二次の対策でしっかり数列の勉強をしていたので満点がとれた。数列は計算練習を積んでいくことでコツがわかってくるので練習が大切。	ベクトルが苦手だったのでかなり落としてしまった。図形に関する問題は文系では苦手な人が多いと思うので苦手なところに時間をかけずにほかに時間を回す判断も大事。	

合格大学	得点	全体の感想	大問1	大問2	大問3 【選択問題】	大問4 【選択問題】	大問5 【選択問題】
名古屋大学 情報学部	89	難易度は例年並みと感じた	[1]加法定理や三角関数の合成の計算で手間取ってしまった。[2]例年並み	後半の計算が複雑なので注意	(4)の計算が煩雑で時間がかかる。前半で計算ミスをする後半にも響くので、着実に解いていくべき	フ、ヘ、ホは図を描きながら解いた。時間がかかって解けなかった。	
名古屋大学 農学部	80	受けた科目の中で一番難しかったです。大問1と2で多くの時間を使ってしまいました。一番時間配分に気をつけてないといけない科目だと思います。	大問1は時間をあまりかけてはいけません。本番では普段より多くの時間をかけてしまいました。	最後の設問まで時間がかかるなと思っただけで、次に次の大問のベクトルや数列を解くようにしていました。	数列の問題は与えられた漸化式を丁寧に解くことが重要です。本番では少し焦っていたせいもあって途中で計算ミスをしてしまいました。	ベクトルの問題では内積に関する問題がよく出ると思います。また、ベクトルの問題で一番大事なのは与えられた図形を綺麗に描くことだと思います。	
名古屋大学 理学部	93	どの問題も計算量が多かった。途中で計算が合わない箇所があり、とても焦ったことで、時間が少し足りなくなった。難易度は例年並みのように感じられた。	特にひっかかることなくすんなり行けた。例年通りの形式、内容、難易度のように感じられた。	1番得意な分野であったが、計算が複雑な箇所でも計算が合わなくなり、とても焦ったことにより、最後までいかなかった。	数列に関しても自信のある分野であったため、計算が複雑な箇所が多かったが、特につかかることなく最後までいけた。	途中まではすんなり行けたが、最後の箇所でも多くの時間を使うことになってしまった。結果的に、ほぼ勘になってしまったが、正解していたので良かった。	
名古屋大学 理学部 (推薦)	79	計算量が非常に多かった。緊張により計算ミスが多発し、いつも以上に時間が足りないと感じた。同じ問題に時間を費やし、後に出題されている簡単な問題も焦ってミスしてしまったので切り捨てる勇気も必要だと感じた。	例年通りの問題だと感じた。緊張により難しく感じたが、冷静に考えればすんなりと答えが出る問題だと思った。問題文に素直に従えばわかりやすい問題だったと感じる。	計算量が非常に多く、時間を費やされた。計算スペースも小さく、焦って数字を大きく書いてしまった。最初の問題で計算ミスしており、その後の問題の値も全て違っていたため、一問一問冷静に取り組めば良かったと思う。	例年通りの問題だと感じた。最後の問題が若干取り組み難かったが、一度深呼吸して落ち着いて取り組むことができた。こちらも計算量が多いため、できる限り筆記せず計算し、計算スペースを節約して取り組んだ。	時間が足りなく、あまり印象に残っていないが、最初の数問は簡単な問題だった。	
大阪大学 法学部	91	一番苦手としていた科目なので9割取れて嬉しかった。この科目については、記述式の問題とセンターとで問われることに大きな差がないので、センターの演習よりも記述の典型的な問題を解けるようにした。	最後の方は難しかったので余った時間で解き直したが、結局わからなかった問題もあった。	典型的な問題だが、序盤で計算ミスをするので、慎重に計算した。	計算量が多く、マーク数も多く大変だった。時間的に間に合わなそうだったので一番最後の問題は飛ばした。	ルートが含まれていてマーク数も多く、やや難しかったが、序盤の簡単な部分は絶対に間違わないようにした。	
大阪大学 法学部	79	センター数学ⅡBの目標点は8割前後だったので、点数的には自分としては合格点だと思った。	三角関数は丁寧に解くことができ点数を稼ぐことができた。指数・対数関数ではわからない問題があったが、入りそうな数字をマークだけして次に進んだ。	丁寧に解き進めることができ、満点に近い点数を取ることができた。しかし、思ったよりも時間がかかってしまった。	途中何を入れたらよいかよくわからない所があったが、確証はないがこれかな？と思うものを入れてみるとうまくいき、18点取ることができた。	途中から全然わからなかったので、マークできそうなところ(角度を答える問題とか)だけマークしといた。	
大阪大学 文学部	62	もともとこの教科は苦手だったが、かなり難しく感じた。	かなり時間をかけてしまった。解けそうなどころは時間をかけても解くようにした。	苦手な範囲なので、最初の方だけでも解いた。	数列や漸化式はよく勉強したので自信があったが、途中で計算ミスをしてしまった。	ベクトルは苦手なので、最初の方だけでも計算ミスをしないように気をつけた。	
大阪大学 外国語学部	85	だいたい思っていたくらいの点数が取れたため良かった。	それほど難しいとは思わなかった。スムーズに解くことができた。	この大問に関して、基本的な問題が多かったように感じる。時間を節約することができた。	この大問は難しかった、というよりも式が複雑で理解に時間がかかった。解き方はわかったため最後まで解いたが、時間を使いすぎた。	空間ベクトルは苦手としていたため、難しく感じた。また数列で時間を使いすぎてしまったため、最後まで解ききれなかった。	

合格大学	得点	全体の感想	大問1	大問2	大問3 【選択問題】	大問4 【選択問題】	大問5 【選択問題】
大阪大学 外国語学部	78	安定していた分野から解いたので時間に余裕があったが、序盤にした計算の間違いに気づくには時間がかかってしまった。	大問1はどれも好きな分野だったので、冷静に解くことが出来た。	(1)の計算だけして、解法がピンと来なかった後半は2周目に解いた。	(2)の前半で計算結果を間違えたまま解き進めたので、どうしても解答欄に合わない答えが出て来てしまった。IAの時間の無さを思い出し、とりあえず解かなければ、と焦って計算の見直しを疎かにしてしまったことが原因だと思う。	大問4のベクトルは安定した得点を取れていたため、はじめに解いた。図を描きながら丁寧に解答し、確実に得点を稼ぐことが出来た。	
大阪大学 外国語学部	76	例年通りの難易度だと感じた。数1Aよりも解けていないと感じていたが結果的には数2Bのほうが点数が高かった。	各問題ごとに素直に前から解いた。わからなかったらとにかく次の問題にいった。	誘導にそって解いていくのが良い。ひとつわからないと次もわからないことが多いので、その時は一回離れて違う大問に行く。	序盤のほうでわからなくなったのでまずいと思った。序盤が後の問題にも響くので苦戦しながらなんとかそれらしい答えを入れておいた。	前半の問題が簡単なのでそこで点を落とさないようにした。	
大阪大学 人間科学部	83	IAの出来が悪かったことは自覚していたので、気持ちを切り替えて解くのがとても大変だったと記憶している。ただ、問題のレベルは標準的で形式の変化もあまり感じなかった。	三角関数の合成や指数・対数は苦手を自覚していたので、重点的に演習していた。そのおかげか、大問の最後以外は大方スムーズに解けたと思う。	微積分は志望校の二次試験で頻出だったので、こちらでも大問の最後の方以外は解けた。計算ミスをしがちだったので多少時間がかかって丁寧なやり方としていた。また、この単元は限られたスペースで図を丁寧に書くことが力ギなので、本番サイズで演習を重ねるとよいと思う。	漸化式は得意だったが計算に時間がかかるのが鬼門だった。本番も計算には時間がかかり、焦りが生まれた。少しでもミスを少なくかつ速く計算をする練習を重ねるべきだと思う。また、誘導が何を示そうとしているのか読み取ることがやや難しく、(4)でも時間がかかった。	空間が出たら嫌だと思っていたら出題されたので、テンションが下がった。座標に根号が混ざっていることで計算ミスもちらほらやらかし、かなり大変だった。問題自体はそこまで難しいものでなかったため、これも計算スピードが力ギになると思う。	
大阪大学 基礎工学部	90	内容自体はそれほど難しくないように感じたが、全体的に計算量が多く、時間的に大変であった。	全体的に誘導が丁寧で、誘導の流れに乗ることができたので、スムーズに解いていくことができた。	題材自体はよく見るもので、簡単ななと思ったが、計算量が多く苦戦した。工夫して計算していけば、もう少し単純にできたかもしれないが、地道に計算してしまったのも、計算が膨大になってしまった原因だと思う。	真ん中あたりで、解答欄の形と答えが合わずに焦った。しかも、最初の方でミスをしており、ものすごく焦った。しかし、間違えに気づくことができ、修正できたのは良かった。	ここまでで、想定以上に時間を使ってしまい、落ち着きを失っていた。方針は立てやすかったが、ここでも計算量が多くなってしまった。結果、最後の問題は答えることができずに終わってしまった。	
大阪大学 基礎工学部	80	数学IAがかなり傾向の違う問題が出たので、こちらはどうなるのか心配だったが、例年通りのパターンが多く、安心した。しかし、途中で止まってしまうこともあり、いい点数が取れなかった。	ここは簡単なので、5分以内にすべて解かなければならない。sinとcosを逆にならないように注意した。	緊張していたせいもあり、思っていたよりも時間がかかってしまった。計算やグラフを書きすぎてぐちゃぐちゃになってしまったので、もっとコンパクトに書いておくべきだったと感じた。	ここは例年と比べやや異なった傾向の問題が出題されたように感じた。特に最後の問題がすぐに解けなかったので、時間ロスを考えて見切りをつけて飛ばした。	ここはあまり難しくなかったが、最初の計算にやや手間取ってしまい、スムーズに解くことができなかった。たくさん模試を受けていても、やはり本番は模試とは違う緊張感があるということを感じた。	
大阪大学 外国語学部	67	とにかく時間が足りない。解ける問題を確実に解いて、どうしてもわからない所には適当に数字をマークしておいた。全部外れた。悲しい。	どちらかという、とつきやすい大問。似たような問題を解きなれていたの大きな失点はなかった。	計算がとにかく複雑になる。頭の中にある手順通りに、心を空にして計算していた。余計なことは考えない。	漸化式がとんでもない形をしていたので一目で後回しにした。ベクトルを先に解いて、余った時間で頑張ったが点はあまり取れなかった。	覚えている手順通りに計算した。あまり深追いはせず、わかる部分だけを確実に正解することに努めた。	
大阪大学 理学部	89	数1Aでやらかした分を取り返すため、落ち着いて解こうと思っていた。かなり落ち着いて解けたと思う。	練習通りだった。ペース的にも問題なしだった。	ここでいかに時間をかけないかが自分の中では課題だった。少しかかってしまったが、解ききり、完答できた。	ここでも少し時間を使ってしまったが完答できた。	大問2、3のつげが回ってきて時間がなかった。解ける問題を解ききりという感じだった。	

合格大学	得点	全体の感想	大問1	大問2	大問3 【選択問題】	大問4 【選択問題】	大問5 【選択問題】
大阪大学 理学部	80	もともと数学は苦手だったので、他の教科の足を引っ張らない程度の点数がとれたな、という感じだった。	数学Ⅰ・Aのことは忘れて、落ち着いて解こうとした。早く解くことよりも、一定のリズムで解答できることを心掛けた。	微積分は間違えないようにした。放物線の図形を描き、与えられた条件を図に示した。面積の問題は図で示し、視覚的に捉えることも大切である。	落ち着いた問題で解いた。漸化式は一回間違えると沼にはまってしまうので、時間をかけてでも確実に解くことが大切である。	問題の条件から図を描いた。パターンをつかむことと、図形的に見て考えることが大切である。	
大阪大学 医学部 医学科	100	例年より少し難しかったと思う。	最初から計算量が多かったが、落ち着いて解けたと思う。	大問2は余白の割に計算量が多く、ケアレスミスが多くなりがちだが、きれいに数字を書くことを心がけたので、ミスがせずに済んだ。	うまく誘導に乗ることが大切。	計算量は比較的少なく、楽なので落ち着いて解けた。	
九州大学 法学部	64	終わった時の絶望感に比べれば点数は良い方だった。2019年度と同じぐらいの難しさだと感じた。	[1]例年と比べて大きな変更点はないと感じた。[2]指数の、逆数の対称式から式の値を求める問題は最後まで解けなかった。対数は簡単に感じた。	計算量が増えたように感じた。よくある形式であるにもかかわらず、積分のほうでは面積公式がうまく使えず時間も足りなかったので解くのをやめた。		工夫することで計算量を減らすことができスムーズに解き進めることができた。しかし、座標は与えられているのに空間内での点の位置を把握することができず完答はできなかった。	過去問にはすべて取り組んでいたのですが、例年と変わらず基本的で典型的な内容が出題されていると感じた。落ち着いて解けば確実に得点できる内容だったと思う。
九州大学 文学部	72	いつもはもっと点数が取れていたのに、予想以上にひどい結果だった。9割とはいかないまでも、せめて8割は取らなければならなかった。初めはしっかり解けたのでいい感じだと思っていたら、どんどん時間も足りなくなり、選択問題では最後までたどり着けなかった。いつもより計算量が多かったように感じた。	三角関数に関してはいつもより簡単だったのではないかなと思う。指数対数は標準的だったが、計算が上手くいかず、完答することができなかった。計算を丁寧に、落ち着いて取り組むことを心掛けてほしい。	難易度としては標準的だったと思う。丁寧にやれば確実に答えは出るが時間がかかる、というのがこの大問の特徴。計算スペースも限られているので間違えやすい。微積分の問題を素早く丁寧に解く練習が必須。	この問題がもっとも失点が大きかった。計算量は膨大かつ複雑で、スペースも狭く、時間も足りない、という悪循環でミスを重ねてしまった。どんな問題が来ても対応できる力が必要だと思うが、余裕があったとしても私は解答にたどり着けなかったのではないかなと思う。	いつもより難易度が高かったと感じた。時間の不足もあるが、いつも点数が取れていた大問だったので、落ち着いて対応できなかったことが悔やまれる。選択問題は2つともいつもより分量が多かったのではないかなと感じる。Ⅱ・Bでは正確に理解しミスのないように進めていく力が求められるので、早めに対策をして問題に慣れるようにしてほしい。	
九州大学 農学部	84	難易度・出題傾向ともに大きな変化はなかったため、いつも通りの点数をとることができた。	例年と比べても大きな変化がなく、落ち着いて解くことができた。	積分計算に少々時間を要したが、全体としては難しくはない内容であった。	問題文の式が複雑化しており、解答に時間を要した。しかし、難易度に大きな変化はなかったように思われる。焦ることなく解答できれば、充分得点できたと思う。	残りの時間にもよるが、焦らず落ち着いて解くことができれば、得点できる難易度であった。	
九州大学 医学部 保健学科	84	過去問と同じぐらいの難易度を感じた。練習と同じぐらいの得点を取れてよかった。	問題の流れに沿って考えていけば問題なく解くことが出来た。また、時間もそれほどかからず余裕を持って解けた。	図を大きく正確に書くことで問題文が整理出来て短い時間で解き終わることができた。	式変形が複雑で難しかった。枠に合わせて考えていくと途中で詰まってしまうも軌道修正できた。	時間切れになり最後まで解けなかった。	